

12月11日(木)5年 新聞記者の方のお話を聞きました

12月11日(木)に、新聞記者の方がお見えになりました。本校では、昨年度からNIE(Newspaper in Education=「エヌ・アイ・イー」と読みます。学校などで新聞を教材として活用する活動です。)に取り組んでいます。今回は、5年生が、社会科の学習で、新聞記者の方からお話を聞き、毎日目にしている新聞には、たくさんの工夫と魅力が詰まっていることを学びました。

まず驚いたのは、新聞紙が少しグレーに見える理由です。新聞は「再生紙」から作られていますが、紙を薄くしても裏の文字が透けて読みづらくなならないよう、あえて色をつけているのだそうです。最大40ページというボリュームを、読みやすく届けるための知恵を知ることができました。

新聞の作りについても詳しく教えていただきました。一面は「ニュースの顔」です。その日の最も大きなニュースが載っています。ニュースの重要度がひと目でわかるよう、見出しのサイズが工夫されています。ページの上部には「経済」「社会」「スポーツ」などのジャンルが書かれていて、読みたい記事をすぐに見つけられるようになっています。

また、新聞を開くといろいろな情報が飛び込んできます。毎日少しずつ読み続けることで、自然と周りの出来事に興味が湧き、「読む力」が育ちます。小学生新聞一冊で「子ども向け小説1冊分」、大人向けの新聞なら「小説2冊分」もの文字量があるそうです。一年間続けると、読解力が身に付くことも分かりました。今回の授業を通して、子どもたちは新聞をより身近なものとして感じたようです。

